

SPE日本セクションの 思い出

大島敬治
(1956～1964)



当セクションは設立以来地道な発展をつづけながら今年30周年を迎えられ、現在大野一郎プレジデントのもとに更に一層の充実を図るべく張切って努力されていることを誠に嬉しく思う次第である。

この機会に記念誌を刊行するので何か書くようにとの御依頼なので、初期の頃を回顧して少し述べてみようと思う。

30年前といえわが国のプラスチック工業が漸く本格的興隆期に入り始めた頃であり、業界の皆さんは海外特にアメリカの情報の入手に躍気となっていた時代である。

だから我々はアメリカで当時3,000人余(現在2万人を超えると聞くが)のプラスチック技術者の組織であるSPEがあり、毎年技術発表中心の総会(ANTEC)を開き、又各都市にセクションがあつて夫々常会(RETEC)を行つて技術知識、情報の交換と親睦をはかつており、外にSPE *Journal* (現在は *Plastics Engineering*)という技術の月刊機関誌を発行していることを知っていた。そして特に時々散見するこのよき参考になる雑誌は未だ入手ルートがはっきりしていなかったため、毎月読みたいものだとの念願を持っていたのである。

たまたま其の頃、日綿実業のアメリカ駐在から帰阪されて我々のつくっていたプラスチック技術研究会(現協会)のメンバーになられた池田保氏から、今SPEの役員であるダウケミカルスのハギンス氏が頂度来日されているから一度話を聞いては如何かと紹介を受けた。早速お願いして大阪市立工研での例会に来ていただき、SPEの活発な活動状況を伺った。そして日本人でもプラスチック技術者としてかなりの実績がある方なら入会は可能だし、機関誌も勿論送れるから、皆さんで日本セクションをつくられては如何かという処まで話が進んだ。

研究会の会長だった日本化工材(現住友ベークライト)の中尾忠雄常務も大変乗気で、早速に治数人の希望者を募り、SPE大阪セクションを誕生させたのが昭和31年の初夏のことだったのである。

現在でも事務所にはかなり御面倒をかけているが、当時セクレタリーを引受けてもらった合成樹脂工業協会関西支部の中山事務局長には、ドルで払込まねばならぬ会費の手続き、ひんばんに送ってくる連絡書類の処理等に随分と迷惑をかけたのを覚えている。

其の後会員も徐々にふえ、東京近辺のメンバーも半数近くを占めるに至ったので、ジャパンセクションと改め、東京のプラスチック・エーグ社の外国部と大工研のプラスチック課で事務の面倒を見ていただくことになった。

最近は大工研の永井進プラスチック課長が熱心に世話して下さっていることは御存知の通りである。

SPE *Journal* が一般に手に入り易くなった後も除々にメンバーがふえていったのは渡米視察の際に効果があった体験者がだんだん出て来たことにもよると思つている。

私自身も昭和36年に何年か振りに渡米した時は、住友ベークライトのシカゴ駐在だった広恵章利氏のお蔭で、シカゴSPEセクションのRETECにも出席し、メンバーであるが故に普通では難かしい2～3

の工場を見学させていただいたし、翌々38年にはKとNPEの視察団で40日間の旅をした時、メンバーは数人しかいなかったにも拘らず、シカゴセクションで全員を招いて歓迎会を開き、質問に答える席を設けていただいた。又帰路サンフランシスコでは、来日された時歓迎パーティを開き、大阪見物より私共の研究所を見せて欲しいといわれ、アメリカでもこんなにプラスチックの研究設備が充実した処はないとお世辞を云って下さったフランプラスチック社のデルモント社長を訪れ、工場見学の後御馳走になりお土産まで夫々に頂戴して、皆さんが怨縮されるという例もあった。

勿論SPEメンバーということで渡米して会社対会社でなく、個人対個人で便宜を得られた例も多かった筈である。其の後も日本セクションのメンバー達が揃ってANTEC に出席され友好を深められた話も聞いている。

だが日本セクションの活動として一番忘れられないのは、昭和43年10月大阪での第2回JP(日本プラスチック見本市)の開催中、京都国際会館でSPEのフォング会長をはじめ海外から多数の来会者を迎えて行った、SPEとしては海外で初めての JAPAN RETECである。2日間の研究発表の外に、京都のホテルでのパーティSPEメンバー夫妻を招待した大阪大閑園でのガーデン焼肉パーティなど、非常に盛會に終始したが、これに就いてはプラスチックエージ誌の昭和59年の2月号に詳細寄稿しているので此処では省略させていただく。

昨年SPE本部から名誉会員にさせていただき感謝している私だが、日本セクションが今後益々発展され、日本のプラスチック業界の国際技術交流の中心となって活躍されるよう期待してやまない。